

基本情報						
教科・科目		高校2年生「倫理」		・授業で使用するもの 教科書：実教出版 倫理702『詳述倫理』 配布プリント：授業中に配布した各単元のプリント iPad：ロイロノートにて授業のスライド、配布プリントなどの参考資料をアーカイブ。 また、課題を提出。		
担当者		山上伸太郎				
評価割合（試験：試験外）		試験：5      試験外：5				
年間を通じて教科で培う力		鍛錬（知識及び技能）		人間としての在り方・生き方について思索するための手掛かりとなる様々な世界観・人生観・価値観について理解する。		
		理解（思考力・判断力・表現力等）		古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方・生き方について多面的・多角的に考察し、自らの生き方の参考とする。		
		探究・叡智（主体的に学習に取り組む態度）		古今東西の代表的な先哲の思想から、人間をどのように捉え、どのように生きること示しているかについてをまなび、自己の生き方に結び付けて思索する姿勢を育む。		
学習情報						
月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4	4	序論 何故、倫理を学ぶのか 第2章 人間としてのあり方生き方 第1節 ギリシア思想	【大テーマ①】 倫理、哲学とは何か、哲学は我々に何を教え、そこから何を学ぶのか 【KEY WORD】 宗教対立・文明 WORKSHOP①「よい授業とは」～哲学の奥義「本質観取」を使って考える～ 【大テーマ②】 人間としてのありかた生き方はどのようなものであるか 【KEY WORD】 ソクラテス以前、無知の知、アイデア、友愛、エビクロス	倫理、哲学概論 ギリシア思想の誕生～自然哲学～ ソフィストたちとソクラテス プラトン アリストテレス ギリシア思想の展開	・講義 ・ワークショップ ・課題作成 ・小論文	・課題提出 ・第2回定期試験 ・夏季課題
		第2節 キリスト教思想	【小テーマ①】 ユダヤ教とキリスト教の関係はどのようなものだったのか 【KEY WORD】 バリサイ派、アガペー 【小テーマ②】 なぜキリスト教は発展したのか1 【KEY WORD】 旧約新約それぞれの書物、パウロ	古代ユダヤ教 イエス キリスト教の誕生と展開		
6 定期試験① 令和8年 6月3日－6月5日） 実施なし						
6	6	第3節 イスラーム 第4節 仏教	【小テーマ③】 なぜキリスト教は発展したのか2 【KEY WORD】 新プラトン学派、三位一体論、神学・哲学の融合 【小テーマ④】 なぜイスラーム教は発展したのか 【KEY WORD】 成立当時の社会背景、アッラー、五行六信 【小テーマ⑤】 なぜ古代インド思想は生まれ、発展したのか 【KEY WORD】 アーリア人、ヴァルナ、輪廻転生、上座部、大乘仏教の違い	イスラーム 仏教以前のインド思想 ブッダの教え 大乘仏教の成立とその教え 世界宗教の姿	・講義 ・課題作成 ・小論文	・課題提出 ・第2回定期試験 ・夏季課題
		第5節 中国思想 第6節 宗教・芸術と人生	【小テーマ⑥】 なぜ古代中国思想は発展したのか 【KEY WORD】 孔子、孟子、荀子、韓非子、朱熹、王陽明、老子、荘子、墨子 【小テーマ⑦】 宗教と芸術は、人生でどのような意味をもっているのだろうか。 【KEY WORD】 聖、美、自己表現 WORKSHOP②「愛とは何か」～哲学の奥義「本質観取」を使って考える～	「道」の自覚ー孔子 儒家思想の展開 老荘思想 人間と精神 宗教と人生 芸術と人生 芸術による自己表現		
7 定期試験② 令和8年 7月15日－7月17日 範囲）						
8	-	【夏の課題】 前期では、人間のあり方生き方を探究するために、さまざまな思想家を授業で取り扱ってきました。授業で取り上げた思想家を2人引き合いに出しながら、「幸福である生き方」とは何かを自らの経験から自分の考えを述べなさい。				
9	9	第3章 社会・世界と人間としてのあり方生き方 第1節 人間の尊厳 第2節 科学・技術と人間 第3節 民主社会と自由の実現	【大テーマ】 人間としてのありかた生き方は社会・世界とどのように関わるか 【KEY WORD】 西洋近代思想誕生の経緯、ルネサンス・宗教改革・モラリスト 【小テーマ①】 ベーコンの思想はどのようなものであったか 【KEY WORD】 「知は力なり」、経験論、4つのイドラ 【小テーマ②】 デカルトの思想はどのようなものであったか 【KEY WORD】 合理論、明晰判明、演繹法、方法的懐疑、「Cogito, ergo Sum」、二元論 【小テーマ③】 モラリストたちの思想はどのようなものであったか 【KEY WORD】 「私は何を知るか」、「パンセ」 【小テーマ④】 社会契約説はどのようなものであったか 【KEY WORD】 生命保存・間接民主制・一般意志 【小テーマ⑤】 ドイツ観念論はどのようなものであったか 【KEY WORD】 認識論・理性・道徳論・精神（ガイスト）	ルネサンス 宗教改革 モラリスト 近代の自然観 新しい学問の方法-経験論と合理論 民主社会の形成-社会契約説 人格の尊厳-カント 人倫-ヘーゲル	・講義 ・課題作成 ・小論文	・課題提出 ・小論文 ・第4回定期試験
10 定期試験③ 令和8年 10月21日－10月23日 範囲） 実施なし						
11	11	第4節 社会と個人 第5節 近代的人間の見直し 第6節 現代の暴力に抗して	【小テーマ⑥】 功利主義はどのようなものであったか 【KEY WORD】 「最大多数の最大幸福」、質的功利主義、帰結主義 【小テーマ⑦】 進化論はどのような変遷を辿ったのだろうか 【KEY WORD】 社会進化論、産業型社会、労働の疎外、唯物史観 【小テーマ⑧】 実証主義はどのようなものであったか 【KEY WORD】 三段階の原則 【小テーマ⑨】 プラグマティズムは真理をどのようなものとしてとらえたか 【KEY WORD】 観念、プラクマ、有用主義、道具主義	個人と社会の調和-功利主義 社会の進歩と変革 真理性と行為-プラグマティズム 主体性の再定義-実存主義 近代的な「私」の問い直し-無意識の発見 思考は言語にしばられる-言語論的転回 社会関係のなかでの「私」の成立-構造主義 生命への畏敬と非暴力の思想	・講義 ・課題作成 ・小論文	・課題提出 ・小論文 ・第4回定期テスト
12 定期試験④ 令和8年 12月9日－12月11日 範囲）						
1	1	国際社会に生きる日本人としての自覚 第1節 古代日本人の思想 第2節 日本の仏教思想 第3節 近世日本の思想 第4節 西洋思想の受容と展開	【大テーマ】 国際社会に生きる日本人としてどのような自覚を持つべきだろうか 【小テーマ①】 古代日本人の思想はどのようなものであったか 【KEY WORD】 風土、八百萬の神、「なる」神、禊、罪と赦い 【小テーマ②】 神道はどのような変遷をたどったのだろうか 【KEY WORD】 神仏習合・神儒習合・復古神道 【小テーマ③】 それぞれの時代の仏教はどのようなものであったか 【KEY WORD】 仏教伝来、聖徳太子、奈良仏教、平安仏教、鎌倉仏教	日本人の自然観と気質 神との関わりと道徳観 仏教の受容 仏教の日本的展開-鎌倉仏教 仏教と日本文化	・講義 ・課題作成 ・小論文	・課題提出 ・小論文 ・第5回定期テスト
			2	【小テーマ④】 江戸時代、日本の儒教はどのような広がりをを見せていたのか 【KEY WORD】 朱子学派、陽明学派、古学派、 【小テーマ⑤】 国学とはどのようなものだったのだろうか 【KEY WORD】 契沖と賀茂真淵、本居宣長 【小テーマ⑥】 江戸時代の民衆思想はどのようなものであったか 【KEY WORD】 町人の思想、農民の思想 【小テーマ⑦】 幕末期にはどのような思想が広がっていたのだろうか 【KEY WORD】 蘭学の展開、尊王攘夷論		
3 定期試験⑤ 令和9年 3月4日－3月6日 範囲）						
3	-	【学年末課題】 ～存在論 認識論 違い～ 身近なことから一つ、哲学的問いを設定し、その問いを存在論と認識論の立場から考察しなさい。				